やちまた 市議会だより

第246号
令和8年
11月1日 発行

発行：八街市議会
編集：広聴広報特別委員会
〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29
TEL043-443-1482
E-mail：gikai@city.yachimata.lg.jp



150th Anniversary ちばの落花生

八街市議会ホームページに会議録・一般質問項目・会議結果などについてご覧いただけます。

CONTENTS

P2 9月定例会の主な議案・会議結果
P3 決算審査
P4 委員会での審査
P5～11 一般質問の内容
P11～12 おしらせ・特集

9月定例会の主な議案



9月定例会は、8月27日に開会し、市長から議案22件が上程され、各常任委員会で審議を行い、9月29日に閉会いたしました。

議案第1号　教育委員会の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、山田良子氏の任命について同意しました。

議案第4号　八街市税条例の一部を改正する条例の制定について

税制改正により、復興特別所得税の税率が1.1％（改正前：2.1％）に引き下げられ、課税期間が令和29年12月31日まで（改正前：令和19年12月31日まで）10年間延長されました。また、防衛特別所得税（税率１％相当額）が新設されることになりました。固定資産税の免税点の引き上げ等についても改正されました。

議案第7号　八街市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法の一部改正により特定乳児等通園支援事業の適正な運営及び利用する乳児等の安全確保を図るため、当該事業を実施する事業者が順守すべき運営基準を条例で定めました。

議案第22号　令和８年度八街市一般会計補正予算（第４号）について

千葉豪雨災害により、本市でも床上浸水等の住宅被害及び公共土木施設等における多数の被害が生じたことから、早急に機能回復を図るため、被害の大きい市道や公共土木施設等の復旧に要する経費の補正です。

○賛否が分かれた議案

議案番号等	件名	議決結果	各議員の賛否																	
			議長	誠和会					公明党					やちまた21		日本共産党		新誠会		Moveit!八街政治は生活		会派に所属しない議員
			小澤孝延	小菅耕二	山口孝弘	鈴木広美	小川喜敬	小山昌弘	角麻子	木内文雄	栗林澄恵	清水顕司		林政男	加藤弘	丸山わき子	若泉聡志	小髙良則	石井孝昭	木村由希子	後藤祐樹	桜田秀雄
議４	八街市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	×	○
議８	八街市保育所設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	×	×	○	退	×	×	○
議９	八街市障害福祉サービス事業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	除	○	○	○	○	○	○	―	○	○		除	除	○	○	○	○	○	○	○
議11	令和８年度八街市一般会計補正予算（第３号）について	原案可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	○	○	○
議16	令和７年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について	認　定	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	×	×
議17	令和７年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	×	○
議18	令和７年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	×	○
議19	令和７年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	×	○

議案番号等欄　議・・議案　各議員の賛否欄　○・・賛成　×・・反対　退・・退席　欠・・欠席　除・・除斥
※議９は、小澤孝延議長にかわり、木内文雄副議長が議事進行を行ったため採決に加わっていません。
※小澤孝延議長は採決に加わりません。

○全員賛成で同意・原案可決・原案可決及び認定した議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議１	教育委員会委員の任命について	議12	令和８年度八街市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について
議２	八街市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	議13	令和８年度八街市介護保険特別会計補正予算（第２号）について
議３	八街市財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議14	令和８年度八街市下水道事業会計補正予算（第１号）について
議５	八街市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	議15	令和８年度八街市水道事業会計補正予算（第２号）について
議６	八街市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議20	令和７年度八街市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議７	八街市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	議21	令和７年度八街市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議10	八街市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議22	令和８年度八街市一般会計補正予算（第４号）について

令和７年度の決算を審査しました。

本決算は、９月１６日から９月２５日に、決算審査特別委員会で審査が行われ、９月定例会最終日（９月２９日）に委員長報告、討論及び採決が行われました。

そもそも八街市の財政状況は？

収入の状況　市税は増加傾向ですが、地方交付税や国・県支出金などに依存する状態が続いています。

支出の状況　福祉や医療、介護など社会保障関係費が増加しています。固定の経費の割合が高く、財政の自由度は低い状態です。



財政の課題　経常収支比率は９９％を越えており、財政の弾力性は低い水準が続いています。

■各会計の決算額

一般会計・特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	273億　744万円	264億7千142万円
国民健康保険	79億8千778万円	78億7千455万円
後期高齢者医療	10億3千664万円	10億3千165万円
介護保険	60億2千994万円	57億4千141万円

下水道事業会計

区分	決算額
収益的収入	７億８千２４３万円
収益的支出	７億３千５７７万円
資本的収入	１億９千９９８万円
資本的支出	３億８千　８１万円

水道事業会計

区分	決算額
収益的収入	１２億２千　６６万円
収益的支出	１１億１千　６６万円
資本的収入	２億７千２１１万円
資本的支出	４億３千１０９万円

■財政指標の推移

指　標	令和7年度	令和6年度	令和5年度
財政力指数	0.62	0.62	0.62
実質収支比率	3.7%	5.2%	4.3%
経常収支比率	99.4%	101.6%	97.5%
公債費負担比率	10.5%	10.9%	10.6%

財政力指数　３年間の平均値を表す。１に近いほど財政力が強い。１を超えるほど余裕財源を持っていることになる。

実質収支比率　実質収支額の水準を判断するもの。３％から５％が望ましいとされる。

経常収支比率　財政構造の弾力性を示す指標として用いられ、この比率が高いほど余裕がなくなると考えられている。一般市は 75％から 80％未満が妥当とされている。

公債費負担比率　財政の硬直性の高まりを示す指標。地方債の元利償還金に使われた一般財源の一般財源総額に対する割合。一般的には 15％が警戒ライン、20％が危険ラインとされている。

審査結果　（決算審査特別委員会での審査）

決算審査特別委員（１７名）で審査を行いました。
（小澤孝延議長、鈴木広美議員（監査委員）は除く。）

一般会計
賛成討論：２件
反対討論：２件
賛成：12人
反対：　5人
認定

国民健康保険特別会計
反対討論：1件
賛成：13人
反対：　4人
認定

後期高齢者医療特別会計
反対討論：1件
賛成：13人
反対：　4人
認定

介護保険特別会計
反対討論：1件
賛成：13人
反対：　4人
認定

下水道事業会計 余剰金の処分・決算
賛成全員で原案可決及び認定
認定

水道事業会計 余剰金の処分・決算
賛成全員で原案可決及び認定
認定

令和8年(2026年)１１月１日



委員会での審査

定例会の常任委員会での審査と視察などの活動をお伝えします。



八街市議会では、専門的かつ効率的に審査を行うため、３つの常任委員会を設置しています。
９月定例会では市長から提出された議案14件（議案第１号、議案第16号から議案22号を除く）について、各委員会で審査を行いました。

紙面の都合上、質疑等の内容の一部を掲載しています。

総　務　常任委員会

市の総務・財政・企画・税務・防災などに関する事案を審査します。

付託された議案　議案第２号、議案第３号、議案第４号、議案第５号、議案第６号、議案第11号、議案第12号

主な審査内容

・八街市財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問：公表回数１回の削減は市民に対する情報公開や透明性の後退とならないのか。

答：下半期の公表は決算と重複するため、総務省の通知のとおり、上半期の公表のみで充分ではないかと考えています。 個別に問い合わせがあれば、もちろん個別対応させていただきます。

・一般会計補正予算（第３号）について

問：子ども子育て支援整備補助金について、公立の保育園を縮小する中、私立の保育園の増築とのことだが、十分に検討はされているのか。

答：未満児について、北部の方では１０名の待機児童がおり、いろはに保育園の増築というのをこちらの方で補助金を出すということで考えています。

文教福祉　常任委員会

教育・子育て・福祉・保健・スポーツなどに関する事案を審査します。

付託された議案　議案第７号、議案第８号、議案第９号、議案第11号、議案第13号

主な審査内容

・八街市保育所設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問：二州第一保育園を閉園し、二州第二保育園へ統合することについて、今後の対応と取組みは。

答：二州第一保育園に通われている方には、今後の転園手続き等について不安を取り除けるよう、丁寧な伴走調整を行って、地元住民にも、今後の話ができるよう調整していきます。また、二州第一保育園は、お別れ会の開催を、保育士の関係者、保護者、地元住民としっかりと協議して決めていきます。

八街市立二州小学校沖分校の今後のあり方に関する要望書を提出。

陳情第26-6号で八街市立二州小学校沖分校について陳情の提出があり、審議を行い、市長並びに教育長に対して要望書を提出しました。



要望事項（要約）

①小規模特認校を含めた今後のあり方の検討
②児童及び保護者への十分な配慮
③地域住民等への丁寧な説明
④休校となった場合の対応

経済建設　常任委員会

農業・道路・上下水道・地域振興などに関する事案を審査します。

付託された議案　議案第10号、議案第11号、議案第14号、議案第15号



主な審査内容

・一般会計補正予算（第３号）について

問：農業雇用労働力対策就業環境整備事業補助金と千葉のさつまいも品質向上支援事業補助金について、上限額は定められているのか。

答：農業雇用労働力対策就業環境整備事業補助金は、上限額５０万円。さつまいも品質向上支援事業補助金は事業費で５千万円です。

▲「令和８年８月千葉豪雨」で被害のあった市内箇所の調査を行いました。

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
9月定例会の一般質問は、9月2日(水)、3日(木)、4日(金)の3日間に16名の議員が質問しました。
（ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

代表質問

会派名
公 明 党



角（かく） 麻子（あさこ） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～イベントにおける思いやり～

Q1　「移動式赤ちゃん休憩室」の今後の活用促進に向けた取り組みは 。

A1　市民や民間事業者、外部団体の周知を図るとともに、市が主催する各種イベントにおいて積極的に設置・活用していきます。



落花生まつり会場にて

Q2　車椅子を利用される方などにイベント会場近くで安全に乗降できるスペースの確保を。

A2　会場の状況や交通事情等により確保が難しい場合もありますが、主催者や関係団体と協議を行い、可能な限り会場近くで安全に乗降できるスペースを確保できるよう検討します。

Q3　「図書館ワイワイデー」の開催数を増やす考えは。

A3　利用者の声や意見を踏まえながら、誰もが気兼ねなく図書館を利用できる機会を定期的に設けることについて検討していきます。

その他の質問
- 指定ごみ袋有料化に向けた周知徹底
- 外国籍住民への行政サービス

代表質問

会派名
新 誠 会



石井（いしい） 孝昭（たかあき） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～財政問題～

Q1　八街市の来年度以降の財政見通しは。

A1　来年度以降、毎年７億円以上の財源不足が生じることにより、財政調整基金残高は減少していき、令和１２年度以降枯渇する可能性があります。

～千葉豪雨災害～

Q1　千葉豪雨災害による本市の被害状況の全容は。

A1　８月２５日現在、床上浸水６棟、床下浸水１１棟が確認されたほか、道路の崩壊２件、土砂流出２件、がけ崩れ１件、道路冠水２７箇所、被災車両１１台を確認いたしました。

Q2　上砂市道２１９号線及び上砂市道３１０１２号線の道路陥没決壊の対応は。

A2　現在、国土交通省の「テックフォース」や県による技術支援を受け、両路線とも国の災害復旧工事の認定に向けた作業を進めているところです。また、千葉県の建設技術センター等に設計をお願いし、その中で適切な復旧内容を検討していただくことになります。

Q3　今回で２度目の崩壊です。３度目は起こらないでほしい。対策は。

A3　219号線の上流部やその下流のところに調整池や貯水池のようなものの整備については検討していきたい。



▲上砂市道219号線崩壊現場

Q4　本市の農業被害の現状は。

A4　人参や落花生を中心に畑で約16.7ヘクタール、水稲で約2.4ヘクタールの被害となっております。

その他の質問
- 道路及び用排水の被害の現状と復旧計画、土砂災害及び崖崩れの状況、災害放置車両、避難所の対応、帰宅困難者の把握及び対応、災害廃棄物の受け入れの対応、農業機械等の被害状況は

代表質問

会派名
やちまた21



林（はやし） 政男（まさお） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～森林環境譲与税を活用して停電を防げ！～

Q1 千葉県は災害に強い森づくり事業によって電柱などのインフラ施設の周辺にリスクがある部分の木に関して予防伐採を進めているが、八街市の予防伐採における進展は。



A1 令和６年度に県の補助事業「災害に強い森づくり事業」と併せて、山田台地区の県道岩富山田台線沿いの保安林について伐採および植林を実施しました。これは市の負担分として森林環境整備基金を充当しています。今年度は滝台地区の市道１１６号線沿いの保安林について整備設計を行い、令和９～１０年度にかけて整備をする計画です。県道岩富山田台線沿いの保安林の継続的な整備については、令和１１年度以降の実施を予定しています。所有者等の意向確認や予算確保を踏まえて調査を行うため対象を選定して進めていきます。

～食料品の消費税率引き下げと農業者への影響～

Q1 食料品の消費税１％が実施された場合の影響は。農業者の影響は。

A1 食料品の税率が引き下げられた場合、消費者にとっては負担軽減効果が期待されますが、農業者のうち、消費税の納付が免除されている免税事業者等の農業者は、農産物の売り上げで受け取る消費税は減る一方、肥料や農薬等の資材の仕入れに係る消費税は１０％のままなので、実質として農業者の負担が増えることが懸念されます。国における制度内容の詳細や動向を注視しながら、必要な情報収集に努めるとともに、農業者の経営安定や負担軽減に向けた支援策の継続・充実について引き続き千葉県市長会、全国市長会を通して国へ要望していきます。

その他の質問
・交通渋滞の解消

代表質問

会派名
Move it！やちまた 政治は生活



木村由希子（きむらゆきこ）議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～生命と水を守る、残土条例の改正を～

Q1 八街市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例（残土条例）の改正を求めてきたが、具体的な見直しに至っていない。市民からの要望により、埋立て事業の関係箇所に赴いて調査・事実確認を行い、結果を住民と共有した。一方、事業者が住民の承諾を取り付けるために個別訪問した際、真偽を自ら調査した形跡なく、事実と食い違う説明が繰り返され、住民の判断を歪める結果となった。このような個別訪問に対し、市は何らかの注意喚起や対応を行う考えは。

A1 事業者が住民に対して説明を行う際は、住民の不安や生活への影響に真摯に向き合い、誠意ある対応が必要とされます。具体的な配慮として、専門用語を避け、誰もが分かりやすい言葉による説明や訪問の事前連絡、訪問時間など丁寧に説明するよう求めていきます。

Q2 四街道市の教訓を踏まえ、残土条例の見直しの検討は。

A2 事前協議規程を条例に明記するほか、手引きの見直しが必要と考えています。盛土規制法との整合性を図るためにも、現行条例の見直しは必要であると考えます。

Q3 2年前の『予定はない』という答弁から前進したと受け止めている。四街道市では搬入量の上限、県外残土の搬入禁止、近接地の合算判定、保証金制度、3者連名申請による連帯責任制度を導入しています。同様の規定を本市にも導入すべきでは。

A3 本市では面積に上限を設けず全てを市の許可としており、厳しく規制しています。他自治体の先進事例を参考にしたいと考えています。

～ゴミ処理費用の有料化。現行ゴミ袋の使用期限について～

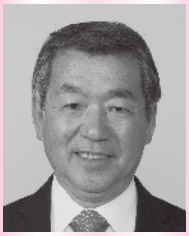
Q1 12月末で現行の指定ごみ袋が使用終了となるが、在庫を抱える市民のため、使用期限の延長の検討は。

A1 期限を延長すると買いだめの誘発や供給不足のおそれがあります。余った分はクリーンセンターへの直接搬入等でご活用ください。

その他の質問
・財政健全化の進捗
・災害対応

代表質問

会派名
誠 和 会



小菅 耕二（こすげ こうじ） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

その他の質問

・富士山噴火による火山灰、降灰被害
・法廷速度30km規制について

～交通安全対策～

Q1　子どものそばを車で走行する際、時速20キロ以下を目安に減速して通過するローカルルール「Slow for Kids」の導入は。

A1　子どもたちを守る有効な取組みであると考えており、近隣市町とも調整を図り、導入が可能であるか調査・研究します。



～高齢者支援体制～

Q1　少子高齢化の進展により親族と疎遠になられたり、一人暮らしで子どもや孫のいない高齢者が増加している。老後の不安解消や総合的に支援する体制づくりは。

A1　高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを市内２箇所設置しています。八街市社会福祉協議会などの関係機関と連携をとりながら支援しています。

～空港の拡大・機能強化と八街の未来～

Q1　成田国際空港の拡大・機能強化をチャンスと捉え、八街の未来を見据えた実現可能な政策立案が重要と考える。今後の街づくりに活かしていく考えは。

A1　成田空港の拡大・機能強化による広域的な発展の可能性を的確に捉え、本市の地域特性を活かした企業誘致や産業振興を進めることで地域経済の活性化、雇用機会の創出、更には持続可能な街づくりに繋げます。

Q2　国、千葉県、成田国際空港株式会社及び周辺自治体との連携は。

A2　第３滑走路の整備や機能強化により、今後、国際物流の拡大、関連産業の集積、雇用機会の創出など、周辺地域への波及効果が期待されます。

代表質問

会派名
日本共産党



若泉 聡志（わかいずみ さとし） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

その他の質問

・市長の４期16年の総括
・公共施設の活用
・市道整備計画の策定

～ふれあいバス運賃改定 市民の声はどこへ～

Q1　９月２８日からふれあいバスの運賃が値上げされる。パブリックコメントでは値上げに反対する意見が多かったが見解は。

A1　寄せられたご意見の多くは、ふれ合いバスそのものの必要性を否定するものではなく、支援策や利用者への配慮を求める内容であったと認識しています。新たなご負担については、慎重な検討を重ねてきました。燃料費や物価の高騰、 運転士不足や人件費の上昇などにより運行経費は年々増加しており、現在の運賃水準では安定した運行の継続が困難になることが見込まれ、利用者にも一定のご負担をお願いせざるを得ないと判断しました。

～国道４０９号・歩道の整備を～

Q1　国道４０９号沿いの歩道は段差があり、幅も狭い。実質的に側溝の蓋の上を歩かざるを得ず、歩道とは言えない箇所も多い。市民ニーズに応じて整備すべきだが、認識と対策は。



A1　国道４０９号の歩道整備は、現在、県印旛土木事務所が住野交差点改良工事の中で行っています。また、木原入口から四木入口までの区間は笹引小学校の通学路のため、グリーンベルトの設置を県に要望しています。市街地部分の歩道は従前の規格であるマウントアップ形式で、現在の規格に比べ幅も狭く、凸凹もあります。歩道未整備区間の整備を優先し、セミフラット化などを将来的には要望してく必要があると考えています。

個人質問

会派名
日本共産党



まるやま こ
丸山わき子議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～千葉豪雨被害から防災・減災対策の充実を～

Q1 今回も大関調整池に隣接する住宅地では、一帯が浸水の被害を被っている。この間も上流への調整池の確保も求めてきたが、検討状況は。

A1 雨水排水整備は喫緊の課題であり、市の財政状況を勘案しながらが、最重要課題として検討状況は。

Q2 避難所の整備推進について、収容人数に見合った段ボールベッド、パーテーションの確保は。

A2 体育館等での施設受け入れ可能人数は約２千500人で、残り１千500人についてはグラウンドなどを利用した車中泊等を想定しています。今後も必要数量の確保に努めます。

その他の質問
・ペット同伴の避難所について

～移動図書館・ひばり号の存続を～



Q1 ひばり号の役割と廃止の理由は。

A1 図書館から遠い地域の文化拠点や交流の場として親しまれてきましたが、車両が30年以上経過し老朽化が深刻なため、安全面を考慮し本年度末で廃車とします。

Q2 クラウドファンディング等の活用による存続は。

A2 今後は電子図書館や代替サービスの提供など、市民ニーズに応じた施策を研究します。

個人質問

会派名
Move it！やちまた
政治は生活



ごとう ゆうき
後藤 祐樹 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～避難所環境と備蓄の充実～

Q1 簡易ベッド・パーテーション・簡易トイレ等の備蓄数量と備蓄目標数に対する充足率は。

A1 簡易ベッド２０８台で充足率１５％、パーテーション２５３基で３０％、簡易トイレは１８５基ありますが、囲うテントが１３基のため１６％です。避難所の生活環境向上や災害関連死の防止に重要な資機材であり、必要数量の確保に努めます。

Q2 要配慮者への段ボールベッド優先確保と福祉避難所の充実は。

A2 避難所運営マニュアルで要配慮者に段ボールベッドを配分することとしており、協定事業者から迅速に調達できる体制も整えています。福祉避難所は福祉施設等との連携を強化し、受け入れ先の確保に努めます。

Q3 民間事業所等との災害時協定による調達の拡充は。

A3 現在６５団体と協定を締結しています。今後は介護用品や福祉避難所の資機材に加え、移動支援や見守りなどのサービスも協定締結を進め、訓練を通じて実効性を高めます。

その他の質問
・社会保険の適用拡大による市財政への影響

個人質問

会派名
公 明 党



きうち ふみお
木内 文雄 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～近年の環境への対応～

Q1 クーリングシェルターの増設は。

A1 日常生活の中で立ち寄りやすい大型店舗を始め、市民の皆様が身近な場所で適切に避難できるよう、民間施設との連携をさらに広げ、熱中症対策の強化に努めます。



Q2 避難所の環境整備は。

A2 災害発生時における良好な避難環境を確保できるよう、引き続き避難所の環境整備に取り組みます。

Q3 食品ロス削減での環境対策は。

A3 家庭でできる食品ロス削減の取り組みについて、さまざまな媒体を通じて、継続的な啓発を行い、ごみの減量化に努めます。

その他の質問
・廃油利用状況について
・犯罪の少ないまちづくり

～財政健全化対策～

Q1 企業誘致の現状と今後の予定は。

A1 企業からの相談があった際の対応として、「ワンストップ相談窓口」の設置を検討しており、企業からの相談を一元的に解決できる体制の整備を進めます。

個人質問

会派名
公 明 党



くりばやし　すみえ
栗林 澄恵 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～地域防災力強化に向けた取組み～

Q1 市内在住の防災士資格保有者の把握体制と登録状況は。

A1 防災士の皆様との連携強化の重要性を認識し、今年度から市内在住の防災士資格保有者を把握し、八街市防災士名簿を作成するとともに、地域のアドバイザーとして活動していただけるようホームページに案内を掲載し、登録をお願いしています。



Q2 リアルな不自由さを体験し、自ら考え自ら行動する体験型防災キャンプの推進は。

A2 体験型防災キャンプは、市民の当事者意識を高め、具体的な備えに繋げる上で、大変有効な取り組みであると認識しており、今後、体験型防災教育を推進するため、キャンプ形式での防災体験プログラムを試行的に実施することを検討していきます。

その他の質問
- 災害想定の確認と現状評価
- 感震ブレーカーの普及・設置促進
- フェーズフリー概念の普及と防災当事者意識の向上
- グリーンインフラ「レインガーデン」の導入と浸水対策・協働推進

個人質問

会派名
公 明 党



しみず　けんじ
清水 顕司 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～ＡＩ基本計画の推進～

Q1 ＤＸ推進計画と同様に、自治体ＡＸ（ＡＩトランスフォーメーション）の基本計画策定の考えは。

A1 自治体ＡＸは、職員の業務負担の軽減や行政サービスの向上を図る上で重要な視点と考えています。しかし、財政状況やこれまでのＤＸ推進状況等を勘案すると、現時点での個別の計画策定は慎重に判断せざるを得ません。当面は先進自治体の動向などの調査・研究に努め、既存のＤＸ推進計画の見直しも含め、今後の状況変化に応じて検討していきます。

～ＡＩ人材の育成 ～

Q1 職員のＡＩ活用スキル向上に向けた取り組みは。

A1 生成ＡＩの利用経験が少ない職員を対象に、活用に関する研修を実施しました。また、新たな生成ＡＩの導入に合わせ、千葉県デジタル化支援室の「自治体ＤＸアクセラレータ」を講師に招いた研修も検討しています。今後も職員のスキルや活用状況に応じた研修を継続するとともに、財政状況を勘案しつつ、国の支援制度を活用したデジタル専門人材の派遣など、外部人材の活用も視野に入れて調査検討していきます。



その他の質問
- マルッと！やちまたについて
- 中東情勢による影響について

個人質問

会派名
新 誠 会



おだか　よしのり
小髙 良則 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～次のステップへ～

Q1 次期市長に対して継続を求める事業は。

A1 通学路の安全確保、子どもたちが健やかに成長できる子育て・教育環境の充実、財政健全化に向けた取り組みを着実にすすめていただきたい。

Q2 職員の兼業、範囲拡大を。

A2 職員が自己実現や地域社会への貢献を目指せるよう、兼業の許可基準の設定や環境等の整備につきまして調査研究を進めます。

Q3 自転車の道路交通法の周知を学生時より求めては。

A3 市は、小学校３年生から中学校の生徒に自転車の安全利用のルールである「ちばサイクルール」や自転車の交通違反について、交通安全教室において学んでいただいております。

ちば
サイクルール

Q4 学生にサングラスの導入を。

A4 教育委員会といたしましては、子どもの紫外線対策に関する科学的根拠、サングラス使用の効果や必要性、先進自治体の動向など注視しながら情報収集に努めます。

その他の質問
- 婚活アプリによる婚活の後押しを

個人質問



桜田（さくらだ） 秀雄（ひでお） 議員

録画画像はこちら▼

スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～市議会議員の報酬の見直し～

Q1 **市長はこれまで４期１６年間、議員待遇の改善に取り組んでこなかった真意は。**

A1 待遇改善策としての議員報酬の見直しについては、議会内におかれまして「八街市議会基本条例」に規定しているとおり、総合的に様々な観点から検討していただきたいと考えています。

～市長選挙～

Q1 **選挙ポスターの作成経費公費負担制度の内容は。**

A1 公職選挙法は、選挙の公正を確保するとともに、候補者間の立候補機会の均等を図る観点から選挙運動に要する費用の一部について、公費で負担する制度が設けられています。本市では、ポスター掲示場数１６６か所に、ポスター作成１枚当たりの作成単価の限度額である２千４９２円を乗じた４１万３千６７２円を、候補者１名あたりの上限額としています。

～八街駅北側イベント会場整備事業の復活～

Q1 **前回の市長選挙の結果、八街駅前イベント会場整備が決まり、すでに設計図が出来上がっているが、来年度予算化は可能か。**

A1 現在、全庁挙げて財政の健全化に取り組んでおり予算計上は非常に厳しいものと認識しています。

個人質問

会派名

やちまた21



加藤（かとう） 弘（ひろし） 議員

録画画像はこちら▼

スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～次年度に向けての財政当局の考え方～

その他の質問

・安全・安心
・道路問題
・駅北口広場

Q1 **次年度の「実質収支比率」についての考えは。**

A1 令和７年度決算における実質収支比率は3.7％であり、令和に入ってから令和元年度の3.2％に続き低い数値となりました。次年度の実質収支比率は、令和７年度と大きく変動することはないと思われます。

Q2 **次年度の「税の伸張」についての考えは。**

A2 市税につきましては、全体の約80％を個人市民税と固定資産税が占めております。年度毎に変動はあるものの、全体として増加傾向にあります。



Q3 **次年度の「財政査定」についての考え方は。**

A3 近年の予算の特徴として、歳入では所得の増加に伴い、住民税が増加しているものの、歳出では高齢者等に伴う扶助費や物件費、普通建設事業費などが増加しております。次年度以降も引き続き厳しい予算編成となることが予想されます。

個人質問

会派名

誠 和 会



小川（おがわ） 喜敬（よしのり） 議員

録画画像はこちら▼

スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～子育てしやすいまちづくり～

Q1 **こども誰でも通園制度の利用状況は。**

A1 新たな事業として、通称こども誰でも通園制度が、本年４月から全ての自治体で必須の事業となり、本市においては、実住保育園で事業を開始したところです。

４月から７月までの利用状況ですが、登録者１３人のうち実際に利用した方は７人で、のべ利用件数は４６件となっています。 利用者からは、同じ年齢の子どもと関われて嬉しかったなど好意的な感想をいただいている一方、利用時間の拡大を希望する声などもありますので、利用者の声に真摯に耳を傾け、国の動向に注視しながら、運用していきます。

Q2 **子ども・子育て支援金制度は。**

A2 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が公布され、令和８年度からすべての世代や企業から支援金を拠出していただき、こども誰でも通園制度や、児童手当の拡充など、子ども・子育て支援施策のための財源に充てられることになっております。

その他の質問

・防災体制の充実
・避難環境の強靭化
・災害時の情報伝達、安否確認
・時代に即した農業振興
・新規就農者、農業後継者確保育成の取組みについて

個人質問

会派名
誠 和 会



山口 孝弘（やまぐち たかひろ） 議員

録画画像はこちら▼
スマートフォンで一般質問の録画映像をご覧いただけます。

～豪雨災害から市民の暮らしと農業を守る～

Q1 今回の豪雨を教訓にした防災体制の強化は。

A1 今回の対応を検証し、職員参集や情報伝達体制を改善します。また、災害時の状況を迅速に把握し、職員の安全を確保するため、防災カメラの活用について調査・研究します。

Q2 道路冠水を繰り返す箇所への今後の対策は。

A2 今回の豪雨では道路冠水27箇所が確認されました。原因や課題を整理し、国・県の技術的協力を得ながら冠水対策を検討し、早期復旧に取り組みます。

Q3 被災した農業者の営農継続に向けた支援は。

A3 市内では約19.1ヘクタールの農地・農作物に被害が確認されました。国・県に被災農業者への支援を要望するとともに、今後も支援策の情報収集・提供に努めます。

Q4 農地の冠水被害を軽減するための排水対策は。

A4 集中豪雨に対応する排水整備は、個々の農業者だけでは限界があります。被害状況を把握し、農業基盤整備促進事業など、活用できる補助事業の情報収集に努めます。

その他の質問

- 民間路線バス廃止後の地域公共交通の確保
- 持続可能な地域公共交通体系
- 市政運営の総括と今後の八街市

第４回議場ライブを開催しました

令和８年９月８日（火）、本会議場にて第４回議場ライブを開催し、30 名の市民の皆さんにご参加いただきました。今回は八街市在中の演歌歌手の「ヨッシー田村さん」をお招きし、聴く人の心に寄り添う情感豊かな歌声が本会議場を包み込み、会場は大いに盛り上がりました。

八街市議会では、多くの方に議場へ足を運んでいただき、議会を身近に感じていただくきっかけとして、議場ライブを開催しています。

会期中は議会の傍聴もできますので、ぜひお気軽に議場へお越しください。



次回定例会の予定

次回定例会は下記の日程で開催される予定です。

○会議開会予定時刻
本会議・委員会
：午前10時

開会日	12月14日（月）
一般質問	12月15日（火）、16日（水）、17日（木）
議案質疑	12月18日（金）
委員会審査	12月21日(月)、22日(火)、23日(水) （総務）、（文教福祉）、（経済建設）
閉会日	12月25日（金）

編集後記

令和８年８月千葉豪雨、そして台風25号により、本市でも大きな被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、復旧にご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。災害の教訓を風化させず、市民の命と暮らしを守るため、議会として防災・減災対策を力強く進めてまいります。

広聴広報特別委員会委員　山口孝弘

議会+ONE

～あなたの暮らしと議会の話～

7月8日、主権者教育の一環として、全議員が八街南中学校を訪問し、３年生の皆さんと「八街ミライ会議」を開催しました。







「ポリポリ村のみんしゅしゅぎ」を教材に、「より良いまちにするためにはどうしたらよいか」をテーマとして、議員と中学生が一緒に考え、意見を交わし、最後に模擬投票を行いました。



18歳になると、選挙で投票することができます。今回の「八街ミライ会議」は、様々な考えや意見に触れながら、自分自身の考えを持つことの大切さや、選挙をはじめとする社会参加について考える貴重な機会となりました。

これからの八街を担う中学生の皆さんと、まちの未来について一緒に考えることができ、議員にとっても多くの気づきや学びのある取組となりました。

Information

＼第５回 八街市議会報告会を開催します！／

日時：令和９年１月16日（土）
10時～12時
場所：八街市中央公民館 大会議室

←詳細はこちら

八街市議会についてもっと知ってほしい！
市民の皆様の思いについてもっと知りたい！

今年は防災についての意見交換もできたらと思っています。是非お気軽にご参加ください。

委員会紹介

広聴広報特別委員会

このたび、市議会だよりをより多くの皆様に手に取っていただけるように、21年ぶりに大幅なリニューアルを行いました。これからもさらなる充実に努めてまいります。

広聴広報特別委員会は、市民の皆様の市議会への理解と関心を高めることや、市議会だよりの発行を通して市議会の活動の情報公開を進めることを目的として活動しています。



【広聴広報特別委員会】
委員長：小菅　耕二　　副委員長：若泉　聡志
委　員：加藤　　弘、山口　孝弘、石井　孝昭、木内　文雄、清水　顕司、後藤　祐樹